

科目名 (科目番号)	生理機能検査学演習 (時間割参照)	教員名 飯田 典子	学科等	臨床検査	選択	履修年次	4
			曜日・時限等	時間割表参照	単位数	1	
			授業形態	演習	オフィスアワー	B205研究室	
授業概要	生理学、生理機能検査学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、生理機能検査学実習Ⅰ・Ⅱ、画像検査学Ⅰ・Ⅱ、画像検査学実習、臨地実習で習得した知識を整理し、さらに総合的な知識や理解力を高めることができる。また、卒業後に必要とされる生理機能検査全般の知識を身につける。						
目的・目標	目的:生理学、生理機能検査学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、生理機能検査学実習Ⅰ・Ⅱ、画像検査学Ⅰ・Ⅱ、画像検査学実習、臨地実習で習得した知識を整理し、総合的な知識を理解する。 目標:生理機能検査全般に関連する知識を総合的に理解できる。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	循環機能検査-心電図(Ⅰ)	到達目標:心電図検査法、正常心電図波形について理解する。 学習内容:心電図検査法、正常心電図波形について学習する。				
	2	循環機能検査-心電図(Ⅱ)	到達目標:異常心電図(期外収縮、伝導ブロック、発作性頻拍など)について理解する。 学習内容:異常心電図(期外収縮、伝導ブロック、発作性頻拍など)について学習する。				
	3	循環機能検査-心電図(Ⅲ)	到達目標:異常心電図(心筋肥大、虚血性心疾患、電解質異常など)について理解する。 学習内容:異常心電図(心筋肥大、虚血性心疾患、電解質異常など)について学習する。				
	4	循環機能検査-心電図(Ⅳ)	到達目標:負荷心電図、Holter心電図について理解する。 学習内容:負荷心電図、Holter心電図について学習する。				
	5	循環機能検査-心音図と脈波	到達目標:心音図、脈管疾患検査(ABI、PWVなど)について理解する。 学習内容:心音図、脈管疾患検査(ABI、PWVなど)について学習する。				
	6	神経・筋機能検査-脳波(Ⅰ)	到達目標:脳波導出法、正常脳波(睡眠脳波を含む)について理解する。 学習内容:脳波導出法、正常脳波(睡眠脳波を含む)について学習する。				
	7	神経・筋機能検査-脳波(Ⅱ)	到達目標:脳波賦活法、異常脳波、誘発脳電位について理解する。 学習内容:脳波賦活法、異常脳波、誘発脳電位について学習する。				
	8	神経・筋機能検査-筋電図	到達目標:筋電図検査、末梢神経伝導検査について理解する。 学習内容:筋電図検査、末梢神経伝導検査について学習する。				
	9	呼吸器系の検査(Ⅰ)	到達目標:呼吸生理の基礎(構造と機能、呼吸調節など)について理解する。 学習内容:呼吸生理の基礎(構造と機能、呼吸調節など)について学習する。				
	10	呼吸器系の検査(Ⅱ)	到達目標:換気機能検査について理解する。 学習内容:換気機能検査について学習する。				
	11	呼吸器系の検査(Ⅲ)	到達目標:肺胞換気機能検査について理解する。 学習内容:肺胞換気機能検査について学習する。				
	12	呼吸器系の検査(Ⅳ)	到達目標:血液ガス分析について理解する。 学習内容:血液ガス分析について学習する。				
	13	超音波検査(Ⅰ)	到達目標:超音波検査の基礎、腹部超音波検査について理解する。 学習内容:超音波検査の基礎、腹部超音波検査について学習する。				
	14	超音波検査(Ⅱ)	到達目標:心臓超音波検査、体表・血管超音波検査について理解する。 学習内容:心臓超音波検査、体表・血管超音波検査について学習する。				
	15	MRI検査・熱画像検査・眼底検査	到達目標:MRI検査、熱画像検査、眼底検査について理解する。 学習内容:MRI検査、熱画像検査、眼底検査について学習する。				
成績評価の方法・基準	期末試験(100%)にて評価する。						
教科書	最新 臨床検査士講座 生理機能検査士 第2版 演習問題、波形・画像などの資料を適宜配布		東條尚子・川良徳弘 編著			医歯薬出版	
参考図書							
教員からのメッセージ	国家試験科目である生理機能検査学、画像検査学の理解を深めるため、ぜひ履修すること。 総合病院で勤務した臨床検査技師がこの授業を担当します。						